

2025年3月27日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証プライム / 証券コード：3762)

C#/VB.NET 対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 2024.2」の 販売を開始

静的解析の LLM 連携機能拡張により開発者の修正作業をサポート／セキュリティ関連ルールの強化

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢井隆晴、以下「テクマトリックス」）は、米国 Parasoft Corporation（本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft 社」）が開発した C#/VB.NET 対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 2024.2」の販売を 2025 年 3 月 27 日より開始します。

dotTEST は、高品質な .NET アプリケーションの開発とテスト工数の大幅削減を強力にサポートする C# 言語/VB.NET 言語に対応した静的解析・動的解析ツールです。3,000 個以上のコーディングルールをもとにソースコードを静的に解析し、プログラムの問題点やファイルを横断した処理フローに潜む検出困難なエラーを検出します。また、.NET アプリケーションの実行中のカバレッジ情報を収集し、テストの抜け漏れの確認を容易にします。開発工程に dotTEST による静的解析やカバレッジ情報収集を組み込むことにより、テストの効率化とソースコードの品質向上が期待できます。

このたびのバージョンアップでは、dotTEST の静的解析にすでに搭載されている OpenAI や Azure OpenAI との連携機能に加えて、OpenAI REST API と互換性のあるチャットコンプリーションエンドポイントを持つ任意の大規模言語モデル（Large Language Models、以下「LLM」）プロバイダーのサポートが追加されました。差分エディター機能で、AI が推奨する修正内容をその場で確認して直接コードを修正することが可能になりました。Visual Studio Code プラグインでは、GitHub Copilot Chat との連携が追加され、Visual Studio Code 上でも実際のコードに対してなぜ違反が検出されたのか、コードのどの部分が問題であるのかについての具体的な解説を確認できるようになりました。

セキュリティ関連ルールにおいては、ソフトウェアの脆弱性を識別するための脆弱性の種類（脆弱性タイプ）の共通脆弱性タイプ一覧である CWE（Common Weakness Enumeration）の ver.4.15 に対応した静的解析を行うことが可能になりました。専用のダッシュボードとウィジェットを利用して静的解析の結果を PCI DSS や OWASP、CWE などの基準のリスクスコアリングにマッピングすることで、各基準に則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できるようになりました。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わるすべてのお客様の課題を解決する最適なツールとして、dotTEST の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

【dotTEST 2024.2 の新機能・改善点】

● 静的解析の LLM 連携機能の拡張

・ LLM 連携

従来の OpenAI や Azure OpenAI との連携に加えて、OpenAI REST API と互換性のあるチャットコンプリケーションエンドポイントを持つ任意の LLM プロバイダーが追加サポートされるようになりました。

これにより、ローカルにデプロイされたモデルと連携することでデータが外部に送信されることなく、セキュアな環境で LLM を活用できます。

前バージョンと比較して、実際のコードに合わせた具体的な解説や修正方法の精度が向上しています。

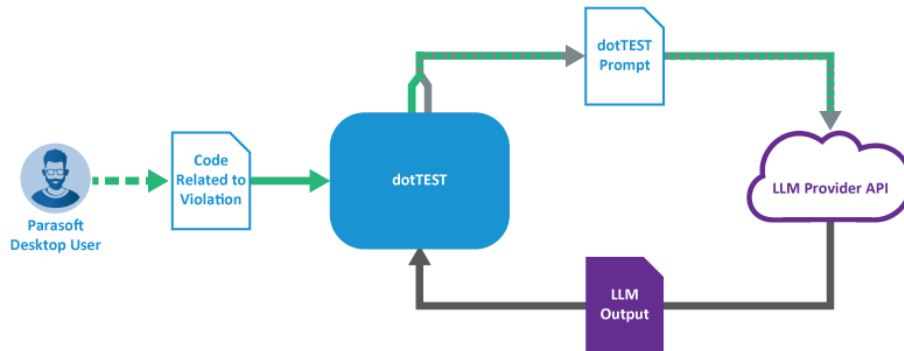


図 1：LLM との連携イメージ

※LLM 連携機能には OpenAI の利用契約は含まれておりません。利用者が個別に契約する必要があります。

※OpenAI REST API と互換性があるチャットコンプリケーションエンドポイントを持つ LLM のみのサポートです。

・ 差分エディター機能

AI が推奨する修正を差分エディターで確認し、直接コードを修正できるようになりました。修正をすべてに適用することも、一部を選択して適用することも可能です。この機能を利用することで、違反の修正プロセスを加速することができます。

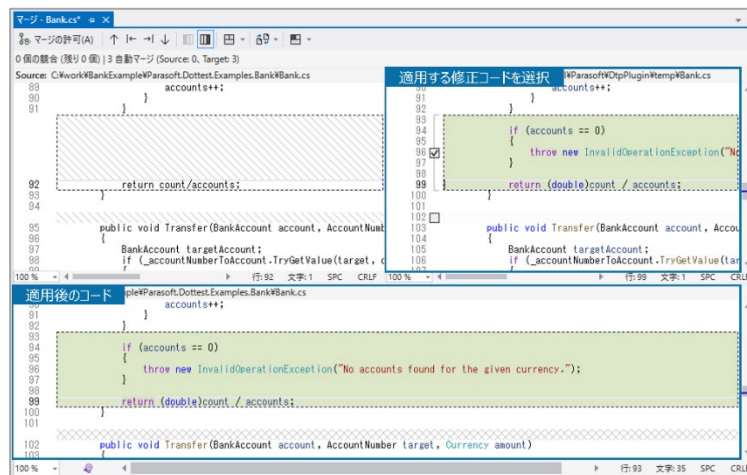


図 2：差分エディターの利用イメージ

- Visual Studio Code プラグインでの GitHub Copilot Chat との連携**

Visual Studio Code プラグインで GitHub Copilot Chat 連携機能がサポートされました。この機能を利用すると、実際のコードに対してなぜ違反が検出されたのか、コードのどの部分が問題であるかについての具体的な解説を確認できます。

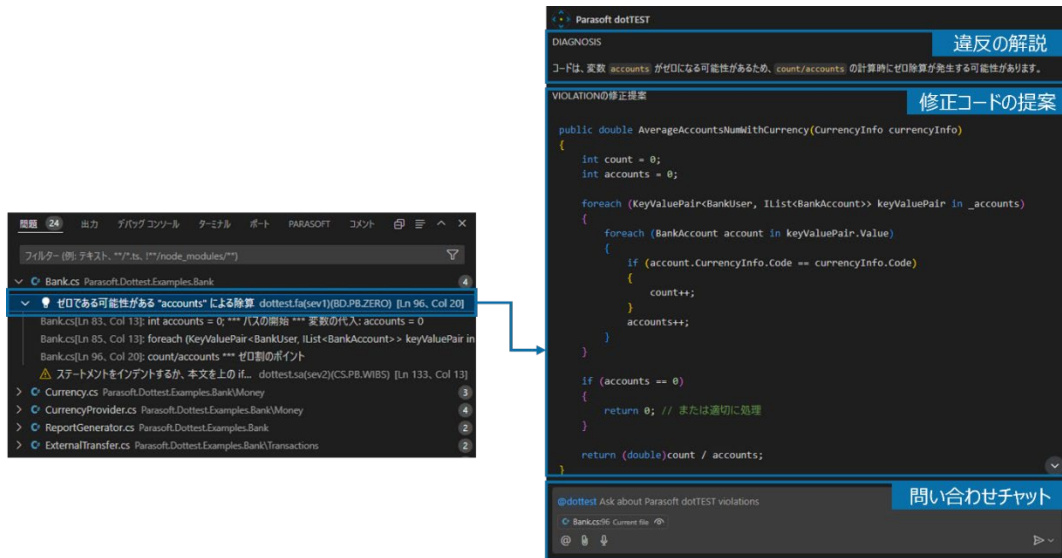


図 3 : Visual Studio Code プラグインでの GitHub Copilot Chat 連携機能を活用した違反修正のイメージ

※GitHub Copilot Chat 連携機能には GitHub Copilot の利用契約は含まれておりません。利用者が個別に契約する必要があります。

- 静的解析ルールの追加**

フロー解析、セキュリティ関連のルールが追加されました。セキュアなアプリケーション開発をサポートします。

カテゴリ	ルールの説明	ルールID
セキュリティ検査	HTTP 上で行われたリクエストを HTTPS にリダイレクトする	SEC.WEB.RHTTPS
フロー解析	ThreadStart/ParameterizedThreadStart で使用されるメソッドの本体が 'try-catch' ブロックで囲まれていることを確認する	BD.PB.TMTC
Web セキュリティ	ASP.NET Core アプリケーションのグローバル例外をログに記録する	SEC.WEB.GEL

Press Release

● CWE 4.15 セキュリティコンプライアンスルールの追加

共通脆弱性タイプ一覧 CWE (Common Weakness Enumeration) の ver.4.15 のルールが追加されました。dotTEST は以下の 18 種類のセキュリティコンプライアンスルールに対応しています。

【dotTEST のセキュリティコンプライアンスルール】

- CWE 4.15
- CWE Top 25 2022
- CWE Top 25 2023
- CWE Top 25 +On the Cusp 2022
- CWE Top 25 +On the Cusp 2023
- DISA-ASD-STIG
- HIPAA
- Microsoft Secure Coding Guidelines
- OWASP API Security Top 10-2019
- OWASP API Security Top 10-2023
- OWASP ASVS 4.0.3
- OWASP Top 10 2017
- OWASP Top 10 2021
- PCI DSS 3.2
- PCI DSS 4.0
- Security Assessment
- UL 2900
- VVSG 2.0

セキュリティコンプライアンスの遵守を促進する「セキュリティコンプライアンスパック」の静的解析ルールを用いてプログラムを解析することにより、C#やVB.NETでの開発におけるセキュアコーディングの推進を強力にサポートします。また、解析結果から生成されるコンプライアンスの遵守/逸脱レポートをリアルタイムで参照できます。

※セキュリティコンプライアンスルールによる静的解析および遵守/逸脱レポートの参照には、セキュリティコンプライアンスパックオプション（別売）が必要です。

【Parasoft DTP 2024.2 (レポート機能) の新機能・改善点】

● コンプライアンスの遵守を促進するコンプライアンスパックの更新

CWE 4.15 がサポートされました。セキュリティコンプライアンスレポート（遵守サマリーレポートや逸脱のレポート）は、全部で8種類のレポートの表示と出力をします。

コンプライアンスパックを導入することにより、dotTESTによる静的解析の結果からOWASPや、CWEに則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できるようになります。ガイドラインの遵守状況の説明が容易になるだけでなく、未遵守箇所を早期に特定し必要な措置を講ずることにより、欠陥のあるソフトウェアから生じるビジネスリスクを排除することが可能になります。また、チームが最大限に効率的に作業できるよう、違反をナビゲートし優先度を設定するための合理的なワークフローを提供します。

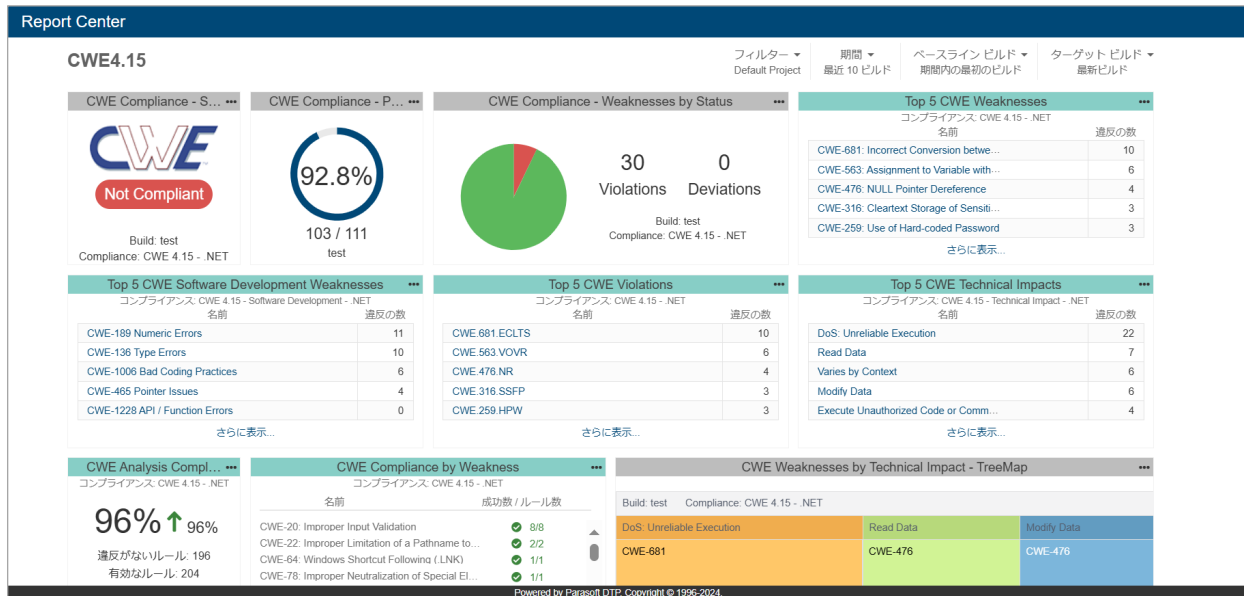


図 5 : CWE4.15 用ダッシュボード

【Parasoft DTP のセキュリティコンプライアンスレポート】

- CWE4.15
- CWE Top 25 2023
- CWE Top 25 2023 + On the Cusp
- OWASP Top 10 2021
- OWASP API Top 10 2019
- OWASP API Top 10 2023
- PCI DSS4.0
- UL 2900

※本機能を利用するには、セキュリティコンプライアンスパックオプション（別売）が必要です。

製品の詳細につきましては web ページをご確認ください。

[https:// www.techmatrix.co.jp/product/dottest/](https://www.techmatrix.co.jp/product/dottest/)

- **販売開始日**
2025 年 3 月 27 日
- **出荷開始日**
2025 年 3 月 27 日

2025 年 3 月 27 日において、保守サービスをご契約いただいている dotTEST ユーザー様には、「dotTEST 2024.2」バージョンアップ製品を、無償でご提供します。

Press Release

■Parasoft Corporation について

Parasoft 社は、30 年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft 社のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 社製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。Parasoft 社のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft 社の 30 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。詳細は Web サイト：<https://www.parasoft.com/> をご参照ください。

■テクマトリックス株式会社 について

テクマトリックス（東証プライム：3762）は、お客様のニーズに沿った最適な IT インフラと IT ライフサイクルをワンストップで提供する「情報基盤事業」、蓄積された業務ノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」、「医療情報をみんなの手に。そして、未来へ。」をテーマに健康な社会を支える医療情報インフラの構築に取り組む「医療システム事業」の 3 事業を展開し、顧客企業のビジネスモデル変革と競争力の強化をサポートしています。詳細は Web サイト：<https://www.techmatrix.co.jp/index.html> をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>
テクマトリックス株式会社
ソフトウェアエンジニアリング事業部 Parasoft dotTEST 担当
E-mail：parasoft-info@techmatrix.co.jp
TEL：03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。